

2022年6月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社アドベンチャー
 コード番号 6030
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 定時株主総会開催予定日 2022年9月26日
 有価証券報告書提出予定日 2022年9月26日

上場取引所 東
 URL <http://jp.adventurekk.com/>
 (氏名) 中村 俊一
 (氏名) 中島 照 (TEL) 03-6277-0515
 配当支払開始予定日 2022年9月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期の連結業績 (2021年7月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期	11,786	46.7	2,043	136.9	2,013	144.8	1,610	90.7	1,610	89.4	1,622	91.4
2021年6月期	8,035	△34.8	862	△36.4	822	△37.6	844	-	850	-	847	-

	基本的1株当たり当期利益	希薄化後1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年6月期	225.03	216.45	27.0	12.2	17.3
2021年6月期	125.95	125.79	44.7	5.7	10.7

(参考) 持分法による投資損益 2022年6月期

—百万円

2021年6月期

—百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年6月期	20,835	9,619	9,619	46.2	1,282.48
2021年6月期	12,199	2,311	2,311	18.9	342.29

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年6月期	2,999	351	4,294	12,754
2021年6月期	△251	△628	△893	5,105

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	親会社所有者帰属持分配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00	67	7.9	3.5
2022年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00	150	8.9	2.5
2023年6月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00		9.7	

3. 2023年6月期の連結業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	14,000	18.8	2,800	37.0	2,750	36.6	1,700	5.6	1,700	5.6	226.65

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年6月期	7,500,700株	2021年6月期	6,800,100株
② 期末自己株式数	2022年6月期	185株	2021年6月期	47,696株
③ 期中平均株式数	2022年6月期	7,156,286株	2021年6月期	6,752,088株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年6月期の個別業績（2021年7月1日～2022年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期	10,558	49.2	1,981	154.6	1,874	123.3	1,709	227.3
2021年6月期	7,074	△26.1	777	△29.5	839	△25.0	522	830.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年6月期	238.85		229.75					
2021年6月期	77.35		77.25					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年6月期	19,212		9,022		47.0	1,202.75		
2021年6月期	8,523		1,676		19.7	248.07		

(参考) 自己資本 2022年6月期 9,021百万円 2021年6月期 1,675百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績とは異なる場合がありますので、ご了承ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結財政状態計算書	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結持分変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	12
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループをとりまく経営環境につきましては、観光庁「宿泊旅行統計調査」(確定値)によりますと、2021年度の延べ宿泊者数は、3億1,777万人泊で2019年比46.7%減(前年比4.2%減)、うち日本人延べ宿泊者数が3億1,346万人泊で2019年比34.7%減(前年比0.7%増)、外国人延べ宿泊者数が432万人泊で2019年比96.3%減(前年比78.8%減)となっており、業界全体として新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が前年同様に続きました。一方で、同調査(速報値)の2022年6月単月によりますと延べ宿泊者数は前年同月比73.4%増の3,451万人泊となり、足元の経営環境につきましては、前年比で大きく回復の兆しが見られました。

このような事業環境のもと、当連結会計年度におきましては、収益は11,786,934千円(前年同期比46.7%増)、営業利益は2,043,360千円(前年同期比136.9%増)、税引前当期利益は2,013,155千円(前年同期比144.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は1,610,385千円(前年同期比89.4%増)となりました。

なお、当社は当連結会計年度において、コスミック流通産業株式会社及びコスミックGCシステム株式会社の株式を譲渡したことにより、両社の各事業を非継続事業に分類しております。これにより、収益、営業利益及び税引前当期利益は継続事業からのもののみを表示しており、これらの事業(非継続事業)については、「非継続事業からの当期利益」として、継続事業と区分して表示しております。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンシューマ事業)

コンシューマ事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、並びにそれによる政府の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令等の影響が断続的に続いたものの、行動制限の段階的緩和等により個人消費に持ち直しの動きが見られたことを受けて業績が回復に向かい、当セグメントの収益は11,879,411千円(前年同期比46.4%増)、セグメント利益は2,135,837千円(前年同期比126.7%増)となりました。

(投資事業)

投資事業につきましては、成長企業等への投資を引き続き実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、株式市場全体の株価が下落し、保有している営業投資有価証券の株価の下落が生じた結果、当セグメントの収益及び利益は△92,477千円(前年同期のセグメントの収益及び利益は、△79,360千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は20,835,885千円となり、前連結会計年度末と比べ8,636,547千円の増加となりました。増加の主な要因は、当連結会計年度中に行われた公募増資による現金及び現金同等物の増加、並びに取引量の増加による営業債権及びその他の債権の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の総負債は11,216,603千円となり、前連結会計年度末と比べ1,328,518千円の増加となりました。増加の主な要因は、借入金の返済が進んだことによる社債及び借入金の減少があった一方で、取引量の増加による営業債務及びその他の債務が増加したことによるものであります。

(資本)

当連結会計年度末の資本は9,619,282千円となり、前連結会計年度末と比べ7,308,029千円の増加となりました。主な要因は、前述の公募増資及び当連結会計年度の親会社の所有者に帰属する当期利益によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末より7,649,333千円増加し、12,754,783千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローと要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金は、2,999,071千円（前連結会計年度は△251,816千円）となりました。収入の主な内訳は、税引前当期利益2,013,155千円、営業債務及びその他の債務の増減額2,269,946千円、減価償却費及び償却費414,470千円であり、支出の主な内容は、営業債権及びその他の債権の増減額△883,641千円、棚卸資産の増減額△435,826千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金は、351,198千円（前連結会計年度は△628,268千円）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収支791,952千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金は、4,294,518千円（前連結会計年度は△893,417千円）となりました。収入の主な内訳は、株式の発行による収入5,350,486千円、自己株式の売却による収入364,987千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出△1,120,121千円、リース負債の返済による支出△282,519千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルスの感染の動向が経済に与えるリスクが懸念されている事に加え、ロシアによるウクライナ侵攻もあり、未だ不透明である状況と考えられています。一方で、わが国においては2021年2月よりワクチン接種が開始されており、また、経口抗ウイルス薬（飲み薬）の開発が今後順調に進めば、感染拡大が沈静化し、旅行需要が急速に回復することも期待されています。

また、連結会計年度を通してコロナ禍であった当連結会計年度におきましても、当社グループは、主力である旅行関連事業の収益改善、広告宣伝費のコストコントロール等に取り組むことにより、予想を上回る業績となりました。2023年6月期につきましても、引き続きこれらに取り組んで参ります。

以上にに基づき、2023年6月期における業績に関しましては、新型コロナウイルス感染症による影響が続くと仮定し、収益は140億円、営業利益は28億円、税引前当期利益は27.5億円、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は17億円と致しました。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、①のれんや無形固定資産を対象としたより厳密な効果測定による投資リターンの改善、②資本市場における財務諸表の国際的な比較可能性の向上、③将来的な海外展開を加速させるための経営管理基盤の確立等による企業価値向上を図るため、国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		5,105,449	12,754,783
営業債権及びその他の債権		1,023,565	2,872,939
棚卸資産		1,080,893	252,161
営業投資有価証券		1,189,684	1,097,295
その他の金融資産		179,002	193,318
その他の流動資産		455,583	1,081,224
流動資産合計		9,034,179	18,251,723
非流動資産			
有形固定資産		143,987	58,889
使用権資産		752,440	664,141
のれん		1,101,295	529,172
無形資産		280,313	166,441
その他の金融資産		854,085	1,162,996
繰延税金資産		27,393	—
その他の非流動資産		5,643	2,521
非流動資産合計		3,165,158	2,584,161
資産合計		12,199,337	20,835,885

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当連結会計年度 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,975,853	5,760,429
社債及び借入金	2,227,085	490,368
リース負債	250,316	191,926
引当金	12,678	—
未払法人所得税等	399,127	1,074,342
その他の流動負債	178,103	112,508
流動負債合計	5,043,164	7,629,574
非流動負債		
社債及び借入金	3,971,785	3,038,381
リース負債	513,345	468,378
退職給付に係る負債	41,079	22,963
繰延税金負債	50,062	5,867
その他の非流動負債	268,647	51,438
非流動負債合計	4,844,920	3,587,028
負債合計	9,888,084	11,216,603
資本		
資本金	557,183	3,281,560
資本剰余金	492,191	3,270,281
利益剰余金	1,524,270	3,067,131
自己株式	△245,240	△1,284
その他の資本の構成要素	△17,152	1,593
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,311,253	9,619,282
資本合計	2,311,253	9,619,282
負債及び資本合計	12,199,337	20,835,885

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
収益	8,035,562	11,786,934
売上原価	2,264,051	1,734,923
営業総利益	5,771,510	10,052,010
販売費及び一般管理費	5,111,001	8,096,579
その他の収益	211,866	88,091
その他の費用	9,685	162
営業利益	862,689	2,043,360
金融収益	48	24,732
金融費用	40,435	54,937
税引前当期利益	822,302	2,013,155
法人所得税費用	164,000	679,251
継続事業からの当期利益	658,301	1,333,904
非継続事業		
非継続事業からの当期利益	186,256	276,481
当期利益	844,557	1,610,385
以下に帰属する当期利益		
当期利益：親会社の所有者に帰属	850,427	1,610,385
当期利益：非支配持分に帰属	△5,869	-
合計	844,557	1,610,385
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)		
継続事業	97.50	186.40
非継続事業	28.45	38.63
基本的1株当たり当期利益	125.95	225.03
希薄化後1株当たり当期利益(円)		
継続事業	97.37	179.29
非継続事業	28.42	37.16
希薄化後1株当たり当期利益	125.79	216.45

連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
当期利益	844,557	1,610,385
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	353	△30
純損益に振り替えられることのない項目合 計	353	△30
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,458	11,684
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	2,458	11,684
その他の包括利益合計	2,811	11,654
当期包括利益	847,369	1,622,040
以下に帰属する当期包括利益		
当期包括利益：親会社の所有者に帰属	853,179	1,622,040
当期包括利益：非支配持分に帰属	△5,809	-
当期包括利益	847,369	1,622,040

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	合計	
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素					
						在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権			合計
2020年7月1日 残高		557,182	492,190	707,599	△244,894	△19,058	△1,498	1,595	△18,961	△16,746	1,476,369
当期利益		—	—	850,427	—	—	—	—	—	△5,869	844,557
その他の包括利益		—	—	—	—	2,401	350	—	2,751	59	2,811
当期包括利益合計		—	—	850,427	—	2,401	350	—	2,751	△5,809	847,369
剰余金の配当		—	—	△33,756	—	—	—	—	—	—	△33,756
新株の発行		1	1	—	—	—	—	—	—	—	3
自己株式の取得		—	—	—	△346	—	—	—	—	—	△346
子会社の支配喪失に伴う変動		—	—	—	—	△1,181	238	—	△942	22,556	21,613
所有者との取引額合計		1	1	△33,756	△346	△1,181	238	—	△942	22,556	△12,485
2021年6月30日 残高		557,183	492,191	1,524,270	△245,240	△17,838	△908	1,595	△17,152	—	2,311,253

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	合計	
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素					
						在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	新株予約権			合計
2021年7月1日 残高		557,183	492,191	1,524,270	△245,240	△17,838	△908	1,595	△17,152	—	2,311,253
当期利益		—	—	1,610,385	—	—	—	—	—	—	1,610,385
その他の包括利益		—	—	—	—	11,684	△30	—	11,654	—	11,654
当期包括利益合計		—	—	1,610,385	—	11,684	△30	—	11,654	—	1,622,040
剰余金の配当		—	—	△67,524	—	—	—	—	—	—	△67,524
新株の発行		2,724,376	2,778,090	—	—	—	—	△2	△2	—	5,502,464
自己株式の取得		—	—	—	△791	—	—	—	—	—	△791
自己株式の処分		—	—	—	244,747	—	—	—	—	—	244,747
子会社の支配喪失に伴う変動		—	—	—	—	6,153	939	—	7,092	—	7,092
所有者との取引額合計		2,724,376	2,778,090	△67,524	243,956	6,153	939	△2	7,090	—	5,685,989
2022年6月30日 残高		3,281,560	3,270,281	3,067,131	△1,284	—	—	1,593	1,593	—	9,619,282

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

注記	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	822,302	2,013,155
非継続事業からの税引前当期利益	112,513	648,106
減価償却費及び償却費	466,737	414,470
減損損失	9,222	38,028
関係会社株式売却益	—	△532,432
金融収益及び金融費用	67,580	39,810
営業債権及びその他の債権の増減額	△642,263	△883,641
棚卸資産の増減額	121,485	△435,826
営業投資有価証券の増減額	79,360	92,388
営業債務及びその他の債務の増減額	△1,115,522	2,269,946
その他	△113,534	△202,432
小計	△192,117	3,461,574
利息及び配当金の受取額	226	24,816
利息の支払額	△67,807	△64,626
法人所得税の還付額	29,737	59,864
法人所得税の支払額	△21,856	△482,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	△251,816	2,999,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,158	△37,336
無形資産の取得による支出	△5,172	△225
敷金及び保証金の差入による支出	△99,073	△659,404
敷金及び保証金の回収による収入	25,905	44,732
保険積立金の払戻による収入	—	221,462
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(△は支出)	△557,432	791,952
その他	53,662	△9,982
投資活動によるキャッシュ・フロー	△628,268	351,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△2,662,450	50,000
長期借入金の返済による支出	△1,070,821	△1,120,121
長期借入れによる収入	3,208,322	—
社債の償還による支出	△10,000	—
リース負債の返済による支出	△324,369	△282,519
株式の発行による収入	—	5,350,486
自己株式の売却による収入	—	364,987
配当金の支払額	△33,756	△67,524
その他	△342	△791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△893,417	4,294,518
現金及び現金同等物の増減額	△1,773,503	7,644,788
現金及び現金同等物の期首残高	6,876,759	5,105,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,193	4,545
現金及び現金同等物の期末残高	5,105,449	12,754,783

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントの事業内容

① コンシューマ事業

個人や企業に対する商品の販売やサービスの提供

② 投資事業

将来性があり、キャピタルリターンを期待できるビジネスや企業への投資

2 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

また、当社グループは、前連結会計年度において株式会社wundou、株式会社ギャラリーレア及び株式会社EDISTを、当連結会計年度においてコスミック流通産業株式会社、コスミックGCシステム株式会社を非継続事業に分類しており、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報は、これら5社を除く継続事業のみの金額を表示しております。

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	コンシューマ事業	投資事業	計		
収益					
外部顧客への収益	8,114,923	△79,360	8,035,562	—	8,035,562
セグメント間の内部収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,114,923	△79,360	8,035,562	—	8,035,562
セグメント利益	942,050	△79,360	862,689	—	862,689
金融収益					48
金融費用					40,435
税引前利益					822,302
セグメント資産	11,009,653	1,189,684	12,199,337	—	12,199,337
その他の項目					
減価償却費	259,844	—	259,844	—	259,844
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	コンシューマ事業	投資事業	計		
収益					
外部顧客への収益	11,879,411	△92,477	11,786,934	—	11,786,934
セグメント間の内部収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,879,411	△92,477	11,786,934	—	11,786,934
セグメント利益	2,135,837	△92,477	2,043,360	—	2,043,360
金融収益					24,732
金融費用					54,937
税引前利益					2,013,155
セグメント資産	19,738,589	1,097,295	20,835,885	—	20,835,885
その他の項目					
減価償却費	308,022	—	308,022	—	308,022
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- 3 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
1株当たり親会社所有者帰属持分	342.29円	1,282.48円
基本的1株当たり当期利益		
継続事業	97.50円	186.40円
非継続事業	28.45円	38.63円
合計	125.95円	225.03円
希薄化後1株当たり当期利益		
継続事業	97.37円	179.29円
非継続事業	28.42円	37.16円
合計	125.79円	216.45円

(注) 基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)	当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)
基本的1株当たり当期利益		
親会社の所有者に帰属する当期利益(千円)	850,427	1,610,385
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期利益(千円)	850,427	1,610,385
継続事業	658,301	1,333,904
非継続事業	192,125	276,481
普通株式の期中平均株式数(株)	6,752,088	7,156,286
希薄化後1株当たり当期利益		
当期利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	8,799	283,630
新株予約権(株)	8,799	283,630

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の収束時期について、現時点で見通しを立てることは困難であります。翌連結会計年度末までは弱毒化や変異株に対応したワクチンの浸透、集団免疫の形成により、徐々に収束に向かうと仮定して、当連結会計年度の会計上の見積りを行なっております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2022年4月13日開催の取締役会において子会社を設立することを決議し、同年7月7日に設立が完了致しました。

(1) 子会社設立の理由

当社はOTA（オンライントラベルエージェンシー）として、日本初のグローバルOTAを目指し、総合予約サイト「skyticket」を運営しております。この度、オフショア開発拠点としてAdventure Korea, Inc. を設立いたします。

(2) 子会社の概要

①名称	Adventure Korea, Inc.
②所在地	Seoul, Korea
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 細谷 千夏（当社従業員）
④事業の内容	システム開発
⑤資本金	30億ウォン
⑥設立年月日	2022年7月7日
⑦大株主及び持株比率	当社100%